

大木町小学生スポーツ交流大会

小学生ソフトバレーボール指導者講習会資料

(令和4年度)



大木町スポーツ協会

令和4年度 大木町小学生ソフトバレーボール大会

指導者(監督・マネージャー・関係者)講習会資料



☆本大会の特別ルール☆

1. 選手4名、交代要員4名まで
 2. ネットの高さ 2m
 3. サーブは、ショート・サービスゾーンからのアンダーサーブのみ。
(まっすぐ下から上へ手を振ること。)
- 違反した場合は、チームで1セット中1回目は注意し、2回目からは失点となる。

☆一般的な小学生ソフトバレールール☆

- ・ポジションは自由です。(フリーポジション)
- ・サーブ順はセットの途中では変更できない。
- ・1セット15点の3セットマッチ。14対14の場合はデュースとなり、2点差がつくまで行う。ただし、最大17点。
- ・選手交代は、1セット4回まで。同じ選手との交替でなくてよい。
- ・サーブは、1回。
(トスを上げてそのまま床に落とした場合はやり直しできない。)
- ・ブロックのオーバーネットは、反則です。
- ・競技中のタッチネットは、すべて反則です。
- ・相手のサーブを直接攻撃(ネットより高い位置からの返球)すると反則となります。
- ・ネットの下の中央線は、踏み越えてはいけない。
- ・ブロックの際のワンタッチボールはタッチ1回とはみなさず、その後3回タッチできる。
- ・1セットにおけるタイムアウトは2回まで。(1回30秒)

ソフトバレーボール ルール

《準備》

用具

- (1) ボール 円周 64cm±1cm (高学年用) 日本ソフトバレーボール連盟公認球
- (2) ソフトバレーボール専用ネット (幅80cm)
- (3) ソフトバレーボール用支柱 (高さ2m、または、バドミントン支柱と補助ポール)
- (4) アンテナ (1m)
- (5) 得点板

コート

バドミントンコートの外側ライン (13.40m×6.10m) を利用する。さらにその外側2mの範囲で、フリーゾーンを設ける。

ネットの高さは2mとする。

《方法》

◎主なルールの違い (ローカル ルール)

- 1) フリーポジション制とし、フロントやバックなどの位置による制限を一切受けない。
したがって、サービス権の移行による位置のローテーションは無い。
- 2) サービスは、セット開始前にラインアップシートを副審へ提出し、決めた順序に従って行う。
- 3) サーブは、ショート・サービス・ゾーンからのアンダーサーブのみとする。
- 4) 交替競技者は、1セット4回 (4名) 以内、同じ競技者との交替でなくてよい。

人数

1チーム4名 (交替競技者を他に4名まで置くことができる)

進め方

- (1) トスで勝ったチームがサービスかコートのいずれかを選択する。
- (2) ゲームはサービスから開始され、両チームはボールを自陣コート側に落とさないようにし、ネットを越して互いに打ち合う。
- (3) 得点はラリーポイント制で、サービス権に関係無く、どちらかのチームの得点となる。
- (4) 各セットは15点先取制とする。14対14になったらジューズに入り、その後2点勝ち越したチームがそのセットの勝者となる。ただし、得点は17点で打ち切れ、1点差であっても17点を先取したチームは勝者となる。
- (5) コートはセットごとに交替する。第3セットはトスによりコートを決定し、いずれかのチームが8点先取したときにコートを交替する。そのときのサービス権は移行せず、交替時のまま続行する。

勝敗

3セットマッチ制で、2セット先取したチームが試合の勝者となる。

サービス

- (1) サービスは、ラインアップシートの順に行う。
- (2) サーバーは、ショート・サービス・ゾーンから、アンダーサーブのみとし、片方の手または腕でボールを打ち、相手側コート内に入れる。
- (3) サービスは1回しかできない。(ネットに触れて相手側コートに入ったサービスは失敗であり、やり直しとはならず、相手チームの得点となる)
- (4) サービスが打たれる瞬間、両チームの競技者は、位置は制限しないがコート内にいなければならない。
- (5) 第2セット開始のサービスは、第1セット開始時に行わなかったチームが行う。第3セットはトスによって決める。

打球回数

- (1) ボールは、3回以内の打球によって相手側コートに返す。
- (2) ブロックによる、ボール接触は1回に数えない。(ブロック後の1回目の打球は、ブロックを行った競技者もできる)
- (3) 同一チームの2人の競技者が同時にボールに触れた場合は、1回と数える。(この場合、いずれの競技者も引き続いて打球することができる)

ポイント

以下の場合、相手チームに1点を与え、サービス権を持っているチームは、さらに相手にサービス権も与える。

- (1) サーブ順を誤ってサービスを行ったとき。(サービスの誤り)
- (2) サービス・ゾーンの外でサービスを行ったとき。《フット・フォールト》
- (3) サービスしたボールが、ネットあるいはアンテナに触れるか、相手方競技者に触れずにボール・アウトになったとき。または、サービスをするためにトスしたボールを打たなかったとき。
《サービス・フォールト》
- (4) サービスされたボールをブロックしたとき。(ブロックの反則)
- (5) サービスされたボールをアタック・ヒットしてそれが完了したとき。(アタック・ヒットの反則)
- (6) 打球回数がブロックを除いて最大限3回を越えたとき。《オーバー・タイムス》
- (7) 明らかにボールが止まるようなプレーがあったとき。《ホールディング》
- (8) 同一競技者が、明らかに2回続けてボールを打球したとき。《ドリブル》(ブロック後、および2人の競技者が同時に打球した後は、どの競技者が続いて打球してもよい)
- (9) イン・プレー中に、身体や衣服などがネットやアンテナに触れたとき。《タッチ・ネット》
- (10) 相手方コート上にあるボールに触れたとき。《オーバー・ネット》
- (11) センターラインを完全に踏み越したとき。《パッシング・ザ・センターライン》(足または手の一部分がラインに触れているか、その真上に残っている場合は、許される)
- (12) 以下の場合ボール・アウトとなる。
 - 1) ボールがコート外に落下するか、またはコート外の物体に触れたとき。

- 2) ボールがアンテナのみに触れたとき。(アンテナとネットに同時接触した場合は、サービスを省きボール・アウトにならない)
- 3) ボールが支柱とコート面に同時に触れたとき。(支柱だけへ接触した場合は、サービスを省きボール・アウトにならない)
- 4) ボールが2本のアンテナ、またはその想像延長線の間を通過しなかったとき。
- 5) ボールがネットの下を通過して相手方コートに入ったとき。

競技者の位置と移動

- (1) サービスが打たれる瞬間、各競技者はどこの位置にいてもよい。(フリーポジション制)
- (2) サービス後は、どのように移動してもよく、アタック・ブロックなど、ポジションによるプレー上の制限はない。

タイムアウト

- (1) 競技者交替のタイムアウト(メンバーチェンジ)

ボールがデッドのとき、各チームは競技者交替のタイムアウトを、1セットにつき4回以内(1セットの合計4名以内)でとることができる。

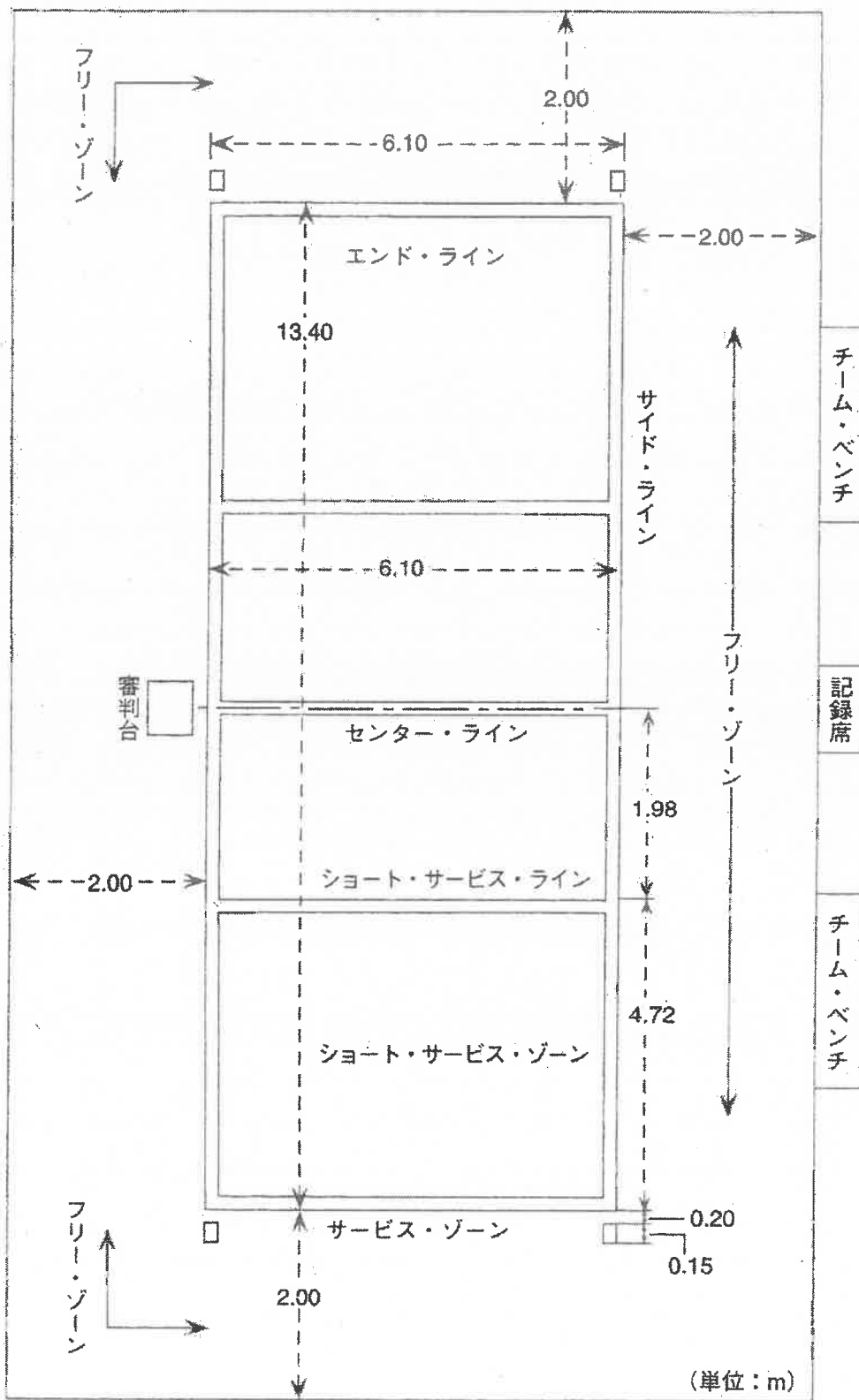
- (2) 休息のタイムアウト

ボールがデッドのとき、各チームは休息のタイムアウトを1セットにつき2回、30秒までとることができる。

- (3) セット間のタイムアウト

セット間に、3分間のタイムアウトを置く。

ソフトバレーボール・コート




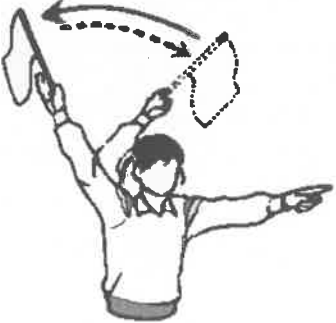




ソフトバレーボール審判の方法

1. 線審:ラインズマン

線審は、下記の項目に該当したとき、合図(ハンドシグナル)を行う。

- i. ボールが担当するラインの近くに落下したとき(インかアウトか)。
- ii. レシービングチームがボールに触り、ボール・アウトになったとき(ワンタッチ)。
- iii. ボールがアンテナに触れたときやサービスされたボールが、ネット上の反則(反則でない空間の外側を通過したとき)。
- iv. サービスが打たれた瞬間、プレーヤー(サーバーを除く)がコートの外に踏み出していたとき。
- v. エンドラインを担当する線審は、サーブ時のフット・フォールトについても合図する。
- vi. プレーヤーがアンテナに触ったとき。

No.	シグナルの種類	ハンドシグナル	動き
1	ボール・イン ボールがコートに入った時		旗を下げる
2	ボール・アウト ボールがコートに入らなかった時		旗を上げる
3	ボール・コンタクト (ワンタッチ) 選手がボールに触ってアウトになった時		旗を立て、他方の手の平を旗の先端にのせる
4	アンテナ外側通過 または、フット・フォールト アンテナの外をボールが通った時または、エンドラインを踏んだり サービスゾーンの外からサーブを打った時		アンテナまたはエンドラインを片方の手で差し、頭上の旗を左右に振る

5	プレーヤーのアンテナ接触 選手がアンテナに触った時		旗を立て、他方の手の平を旗のボールの真中の部分に触れる
6	判定不能 判らなかつた時		両腕を胸の前で交差する




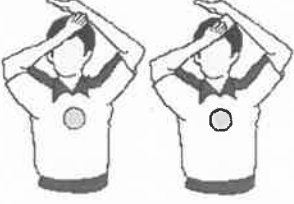
2. ハンドシグナル

主・副審のハンドシグナルを以下に示します。

No.	シグナルの種類	ハンドシグナル	動き
1	サービス許可(主審)		サービスの方向を手で指示する
2	サービス側のチーム(主審・副審)		サービスする側の腕を横に上げる
3	チェンジコート(主審) 1セットが終わった時、または最終セットでリードしているチームが11点になった時		左腕は前から後ろへ、右腕は後ろから前へ弧を描く
4	タイムアウト(主審・副審) チームがタイムを取る時		片方の腕を立て、その上に反対側の腕を横にしてT字を形造る
5	サブスティテューション (メンバーチェンジ)(主審・副審) 選手交代する時		両腕を図のように上げ、前腕の部分を、互いにくるぐる回す

6	<p>無作法な行為・反則(主審) 態度がとても悪い時</p>		<p>黄のカードを出す</p>
7	<p>退場(主審) 相手を傷つける悪口を言ったり、態度をした時</p>		<p>赤のカードを出す</p>
8	<p>失格(主審) 身体へ攻撃したり、しようとした時</p>		<p>黄赤両方のカードを同時に出す</p>
9	<p>セット(ゲーム)の終了 (主審・副審) セット(ゲーム)が終わった時</p>		<p>両腕を胸の前で交差する</p>
10	<p>サービス時ボールをヒットしなかったか、またはトスしないで打った時(主審)</p>		<p>腕を伸ばし、片方の手の平を上に向けて上げる</p>
11	<p>ディレイ・イン・サービス(主審) サービス許可の笛から8秒以上すぎた時</p>		<p>指を八本伸ばし、その手を上げる</p>
12	<p>ブロックの反則またはスクリーン(主審・副審) サービスをブロックした時または、スクリーンがあった時</p>		<p>両手の平を前に向け両腕を上の方に上げる</p>
13	<p>ポジショナル・フォールト(ポジションの反則) (主審・副審) サービス順を間違えた時、またはサービスを打った瞬間、選手がコート内にいない時</p>		<p>片方の手の人差し指で体の前で円を描く</p>

<p>14 <u>ボール・イン(主審・副審)</u></p>		<p>フロアを指す</p>
<p>15 <u>ボール・アウト(主審・副審)</u></p>		<p>手の平を自分の方に向け、両手を上げる</p>
<p>16 <u>キャッチ・ボール(主審・副審)</u> <u>ボールを持った時</u></p>		<p>片方の手の平を上に向け、前腕をゆっくり持ちあげる</p>
<p>17 <u>ダブル・コンタクト(主審)</u> <u>2回連続してボールに触った時(ブロックの後は除く)</u></p>		<p>指を二本伸ばし、その手を上げる</p>
<p>18 <u>フォア・ヒット(主審)</u> <u>ボール返す前に4回触った時</u></p>		<p>指を四本伸ばし、その手を上げる</p>
<p>19 <u>タッチネットまたは、サービスボールがネットに触れ、ネットを越えないとき(主審・副審)</u></p>		<p>ネットの側面に、反則を犯した側を片方の手で触る</p>
<p>20 <u>ペネトレーション・フォールト(オーバー・ネット)(主審)</u> <u>ネットを越えて、相手のボールに触った時(ブロックを除く)</u></p>		<p>片方の手の平を下に向け、ネットの上の方に横に伸ばす</p>
<p>21 <u>アタックヒットの反則(主審)</u> <u>サービスをアタックラインより前で、ネットより高い位置でアタックした時</u></p>		<p>片方の手を上に伸ばし、前腕を振り下ろす</p>

<p>22</p> <p>ペネトレーション・フォール (パッシング・ザ・センター・ライン) または、ボールがネット下を通過した時 (主審・副審) <u>センターラインを踏み越した時</u></p>		<p>片方の手でセンター・ラインを指す</p>
<p>23</p> <p>ダブル・フォールト(ノーカウント) (主審) <u>やりなおしをする時</u></p>		<p>両方の親指を立て、両腕を上げる</p>
<p>24</p> <p>ボールコンタクト(ワンタッチ) (主審・副審) <u>ボールに触ってアウトになった時</u></p>		<p>片方の手を上げ、その手の指先を他の指の腹でブラッシをかけるようにする</p>
<p>25</p> <p>遅延警告および遅延反則 (主審) <u>選手交代が遅れたり、ゲームの進行を遅らせた時</u></p>		<p>手首をもう一方の手(黄カード)で触れる</p>

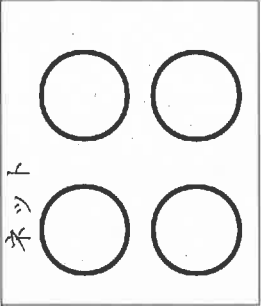
令和4年度 大木町小学生スポーツ交流大会

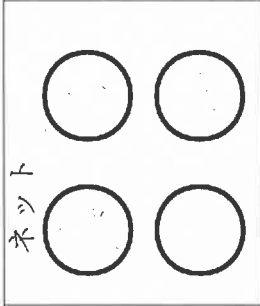
小学生ソフトバレーボール大会要項

1. 主催 大木町スポーツ協会 / 後援 大木町教育委員会
2. 協力 大木町バレーボール連盟
3. 開催日 令和4年10月10日(月・祝)
★チーム受付 午前9時～
★開会式 午前9時30分
★競技開始 開会式終了後
4. 会場 大木町総合体育館
5. チーム編成 選手8名以内(町内の小学生)で、原則公民館単位で編成する。
(男女混合チーム可)
6. 競技方法 (公財)日本バレーボール協会制定ソフトバレーボール競技規則に準じるが、本大会監督者会議申し合わせ事項による。
*試合球はゴム製のソフトミニバレーボールを使用する。
7. 監督者会議 (1)期日 令和4年9月29日(木)午後7時30分
(2)会場 大木町総合体育館 こっぼーっとホール
*監督が出席できない場合は、必ず代理の方の出席をお願いします。
8. 指導者講習会 監督・コーチ・関係者を対象に競技規則及び練習方法等の講習会を
8月3日(水) 19:00から総合体育館で実施します。
9. 練習会場の開放について
9月2日から10月5日までの水曜・金曜の午後6時から8時までは、
大木町総合体育館第1アリーナをソフトバレーボール・ドッジボール
出場チームを優先利用としています。
また、上記以外の日でも空きがあれば練習可能です。
10. コロナ対策について
 - ・参加チーム代表者は、健康チェックシートを提出
 - ・無観客試合(選手+監督含め4名まで)
 - ・詳細については、後日参加チームにお知らせします。
11. 申込み方法 別紙参加申込書を9月20日(火)までに提出して下さい。
なお、FAXでの申込みは、必ず送信後に確認の電話をして下さい。
※参加申込書提出後の選手の変更は、大会当日の選手登録時
(選手受付時)をお願いします。

大会についての問い合わせ及び参加申込みは下記までお願いします。
大木町スポーツ協会 事務局(大木町総合体育館内)
TEL・FAX 0944-32-1288

ラインアップシート ※副審へセットごとに提出してください。

チーム名	
第	セット
ネット	
	
監督	氏名

チーム名	
第	セット
ネット	
	
監督	氏名